



サワフージ ウンタマキルー
西原町立図書館マスコットキャラクター

“西原町立図書館開館5周年記念 第22回講演会”

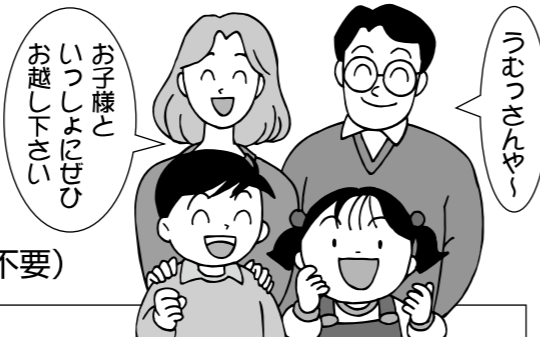
演 題: 「しまくとぅばであそぼう」

講 師: 金城 春子 氏 (民話語り部)

日 時: 8月23日(日) 14:00~16:00

場 所: 西原町立図書館 2階集会室

対 象: 親子(乳幼児可)、一般(入場無料・申込不要)



お子様と
いっしょにせひ
お越し下さい

ご参加下さい

<金城春子プロフィール>

- 1941年(昭和16年)西原町幸地に生まれる
- 民話と食事の店、門(じょう)を営みながら県内外で講演会をはじめラジオ・テレビに出演。
- 現在、南風原町在住

夏休み特別上映会のお知らせ

○時 間: 午後2時から
○場 所: 2階集会室

月 日	曜 日	作 品 名
8月 5日	水	「みんながおしえてくれました」(約30分)
8月12日	水	「おばけのホーリー」(約45分)
8月19日	水	「ヘンゼルとグレーテル/おおかみと少年」(約30分)
8月26日	水	「トンデモネズミの大活躍」(約70分)

ボランティア募集しています!!

1. おはなしボランティア
2. 新聞クリッピングボランティア
3. 書架整理・修理等ボランティア
4. 施設の美化活動ボランティア

興味・意欲のある方の参加を
お待ちしております。
お気軽にお問い合わせ下さい。



訂正とおわび

先月7月の広報「にしはら」17ページの記事「午前9時30分に開館します」=夏休み期間中(7月19日~8月29日)=の8月29日を8月28日(金)に訂正してお詫び申し上げます。

図書館カレンダー



AUGUST 8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 /30	24 /31	25	26	27	28	29

開館日
【火~金】
午前10時~午後7時
【土・日】
午前10時~午後5時
は休館日です。

休館日
まいしゅうげつようび
毎週月曜日
かんないせいりび
館内整理日(第3木曜日)

21日 20日「開館記念日」の振替休館日

9月 SEPTEMBER						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

22日 国民の休日
23日 秋分の日
24日 21日敬老の日の振替休館日

上映会のお知らせ

日時: 8月16日(日) 午前11時~
場所: 町立図書館 2階集会室
内容: 「おきなわ昔ばなし」

6月	開館日数	23日
来館者数	15,832人	(1日平均 689人)
貸出点数	21,843点	(1日平均 950点)
一般図書	9,674冊	郷土資料 606冊
児童図書	2,665冊	ヤング・アダルト 1,134冊
絵 本	3,420冊	雑 誌 1,527冊
紙 芝 居	531冊	視聴覚資料(CD・DVDなど) 2,286点

おはなし会のお知らせ

日時: 8月9日(日) 午後2時~
場所: おはなしのへや
図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせ、歌、手あそびなど楽しい内容になっています。親子でお楽しみください。

紙芝居上演のお知らせ

日時: 8月1日(土)、15日(土) 午前10時30分~
場所: おはなしのへや
図書館ボランティアによる紙芝居の上演を行っています。などなどを取り入れ、楽しく行っています。ぜひ、ご参加ください。

町史だより

『沖縄県統計書』にみる西原

一八八三年(明治十六)、沖縄県から『沖縄県統計書』が発刊されました。同書には、土地・産業・農業・畜産・政治・教育・警察・衛生といった多岐にわたる内容が収録されており、発刊当初から一九四〇年(昭和十五年)までの五十七年にわたり編集が行われました。今回の「町史だより」では、『沖縄県統計書』の中から、西原の農業についてみていきたいと思います。

一九一五年(大正四)の『沖縄県統計書』から、作付面積一反あたりのさとうきびの生産高をみていくと、沖縄県が約六、六〇〇斤、中頭郡が約七、四〇〇斤に対し、西原は約一万八〇〇斤と記されており、約二倍もの生産をほこっているのが分かります。私たちが住む西原は、言わずと知れたさとうきびの産地ですが、その姿が同統計書からも伺い知ることが出来ます。



サーターグルマ
(『沖縄県人物風景写真帖』より転載)

の背景には、一九〇八年(明治四十一年)に沖縄県糖業改良事務局の工場が我謝に竣工したことや、一九一二年(明治四十五)の同事務局の廃止に伴った、沖縄製糖株式会社の設立が関係しています。また、西原の肥沃な土地がさとうきびに適していたとも言われています。さとうきびの生産が最盛期をみせた一方、西原における甘藷(サツマイモ)の作付面積が一九〇六年(明治三十九)の一、一五七町を境に、翌年には九九〇町と次第に減少している傾向も同統計書から読み取ることが出来ます。

『沖縄県統計書』をみていくと、近代西原の姿がみえてきます。

- ※一斤…約600グラム
- ※一町…約109メートル
- ※一反…約10アール